

たしかな経営のあかし

福岡中央銀行

ミニディスクロージャー誌
第91期 営業の中間ご報告
(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

2011年

平成23年9月期版



©Papiko, Ink.

MUSBO

も く じ

ごあいさつ 当行の概要	P 1
経営方針・中期経営計画	P 2
Q & A (当行をより深く知っていただくために)	
Q平成23年9月期の業績はどうだったの？	P 3
Q損益の状況は？	P 5
Q自己資本比率はどのくらいなの？	P 6
Q不良債権の状況は？	P 7
Q中間財務諸表は？	P 9
Q金融円滑化の取組み状況は？	P 11
Q地域貢献にはどのように取り組んでいるの？	
（本業を通じた地域貢献）	P 13
（地域との密着化）	P 14
（地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝い）	P 15
Q環境保全や支援等には対応しているの？	P 16
Q金融犯罪防止への取組みは？	P 17
役員・株式のご案内	P 18

当 行 の 概 要

創 立	昭和26年6月
商 号	株式会社福岡中央銀行 (THE FUKUOKA CHUO BANK, LTD.)
本店所在地	福岡市中央区大名二丁目12番1号
資 本 金	25億円
預 金	4,433億円（譲渡性預金を含む）
貸 出 金	3,368億円
従 業 員	531名（男性350名、女性181名）
店 舗 数	41店舗（本支店39・出張所2）
株 式 上 場	福岡証券取引所（昭和43年3月）

(平成23年9月30日現在)



ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども福岡中央銀行を格別にお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

当行は福岡県内を営業地盤とし、地域社会とともに発展することを経営理念に掲げ、地域金融機関としての使命を果たすとともに、健全経営を貫く銀行として高い評価を得てまいりました。

また、本年六月にはおかげさまで創立六十周年を迎えることができました。

これもひとえに、皆さま方の永年にわたるご支援の賜と心から感謝いたしております。

私ども福岡中央銀行は「この街でこいっしょに」の精神のもと、お客さま一人ひとりを大切にする「ハート・ツー・ハート」の金融サービスを力強く推し進め、地域の皆さまからより一層広く、深く愛され親しまれる銀行を目指して努力してまいります。

今後とも、引き続き倍旧のご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この小誌が皆さま方に、当行をより深くご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

平成23年12月

取締役頭取 末松 修

経営方針・中期経営計画

【経営方針】

当行は、「福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」ことを経営理念に掲げ、特に、中・小規模の企業・事業所と個人のお客さまを中心に中・小口取引に特化した営業活動を展開しております。

今年度は、①地域密着型金融の推進、②経営体質の強化、③人材の育成と活性化を基本方針に掲げた3カ年の「中期経営計画」の最終年度であり、中小企業専門金融機関として地域のお取引先に質の高い金融サービスを提供していくことを目指しております。

この「中期経営計画」における諸施策を着実に遂行することにより、今後とも地域の中小企業および個人の皆さまにとって、なくてはならない「この街でございしょに」の地域金融機関として、役職員一一致協力して地域貢献を果たしてまいります。



【中期経営計画】

〈計画期間〉

平成21年4月から平成24年3月まで

〈基本方針〉

1. 地域密着型金融の推進
2. 経営体質の強化
3. 人材の育成と活性化

〈主要施策〉

1. 地域密着型金融の推進と確固たる営業基盤の拡充
2. ガバナンス態勢の強化
3. 収益力の強化
4. 人材の育成と活性化



福岡中央銀行 本店

Q 平成23年9月期の業績はどうだったの？

A おかげさまで、預金・預かり資産ともに増加しました。

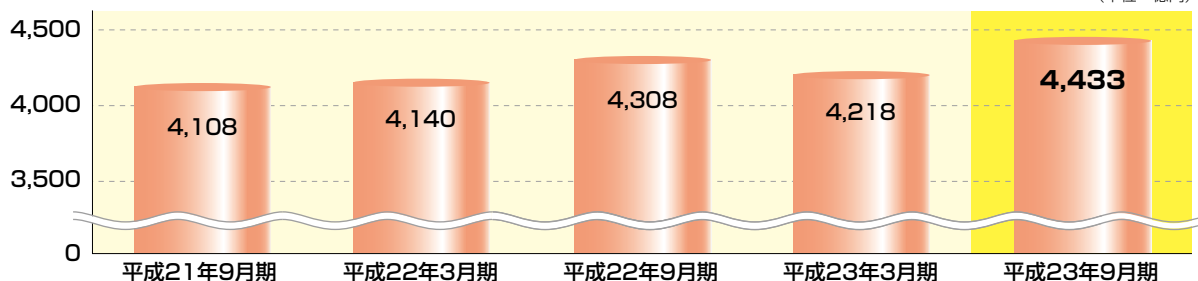
■ 預金

(預金には譲渡性預金を含む)

預金残高は、前年同期比で**125億円増加**して**4,433億円**となりました。

■ 預金残高の推移

(単位：億円)



■ 預かり資産

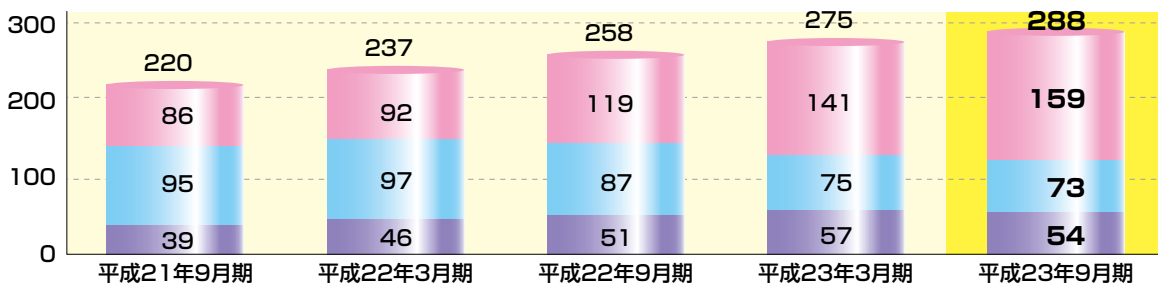
預かり資産残高は、前年同期比で**30億円増加**して**288億円**となりました。

当行はお客様の多様化する資産運用ニーズにお応えするために、投資信託、公共債、保険などさまざまな金融商品のご提供を行っております。

■ 預かり資産残高の推移

■ 投資信託残高 ■ 公共債残高 ■ 保険残高

(単位：億円)



A 貸出金もお取引先の資金需要にお応えした結果、順調に推移しております。

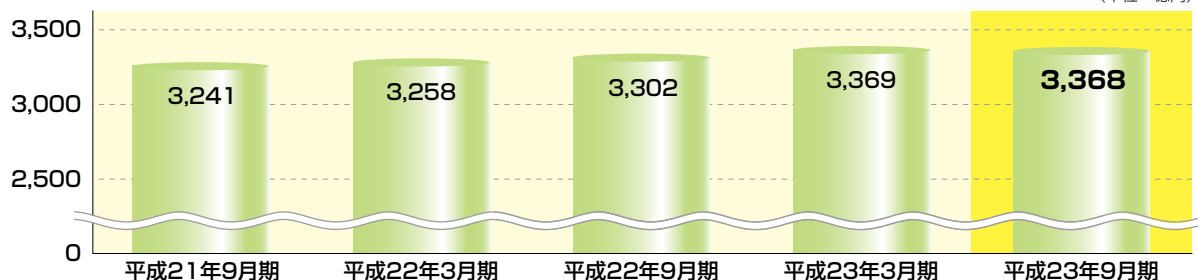
■ 貸出金

(中小企業等向け貸出金には個人向け貸出金を含む)

貸出金残高は、前年同期比で**66億円増加**して**3,368億円**となりました。

■ 貸出金残高の推移

(単位：億円)



当行は“地元で親しまれ、信頼される銀行”を目指して、地域の皆さまの資金需要に対して積極的に取り組んでまいりました。特に、地元中小企業および個人の皆さまの資金需要に最大限お応えした結果、**中小企業等向け貸出金残高**は前年同期比で**54億円増加**して**3,045億円**となり、**貸出金残高全体に占める比率**は**90.41%**になりました。

今後も引き続き地域金融機関として地域社会の発展に貢献していきたいと考えております。

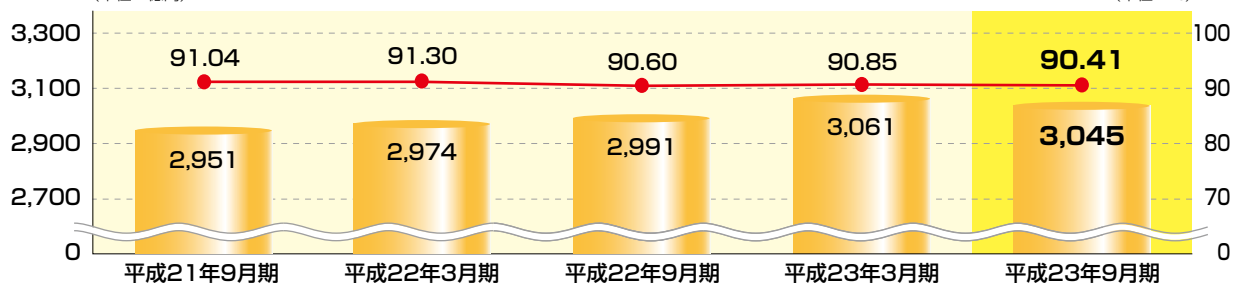
■ 中小企業等向け貸出金残高および比率の推移

■ 中小企業等向け貸出金残高

● 中小企業等向け貸出金残高比率

(単位：億円)

(単位：%)



Q 損益の状況は？

A 堅実経営に徹し、毎期確実に利益を計上する黒字決算を続けております。

■ 損益状況

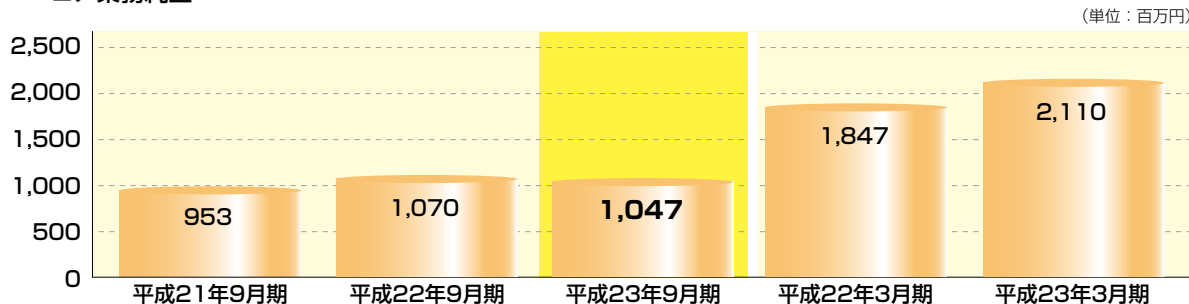
コア業務純益は、10億47百万円となりました。

経常利益は、前年同期比で12億55百万円増加して16億37百万円となりました。

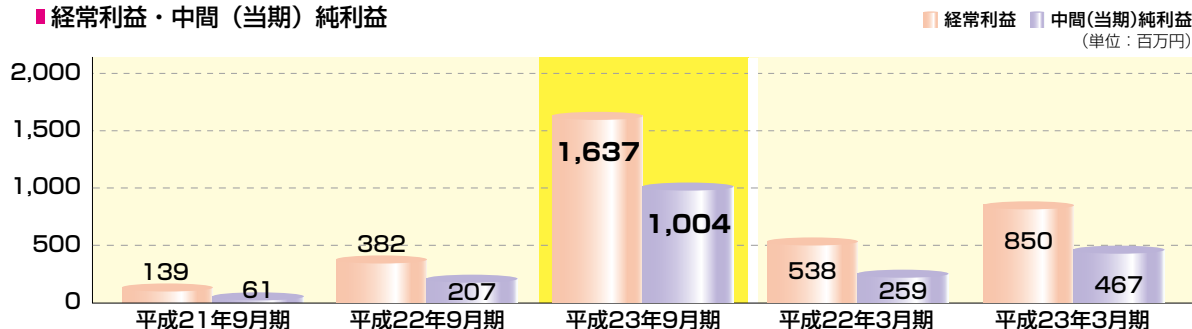
中間純利益は、前年同期比で7億97百万円増加して10億4百万円となりました。

当行は昭和26年創立以来60年間黒字決算を続けております。

■ コア業務純益



■ 経常利益・中間（当期）純利益



用語のご説明

コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から一時的な変動要因を除いた、銀行の本来業務での利益です。

経常利益

銀行が本業を含めて普段行っている継続的な活動から得られる利益です。

中間(当期)純利益

経常利益に特別損益と税金等を加減算した最終的な利益です。

Q 自己資本比率はどのくらいなの？

A 国内基準の2倍以上の8.93%です。

■ 自己資本比率

銀行の安全性・健全性を示す最も代表的な指標が自己資本比率です。

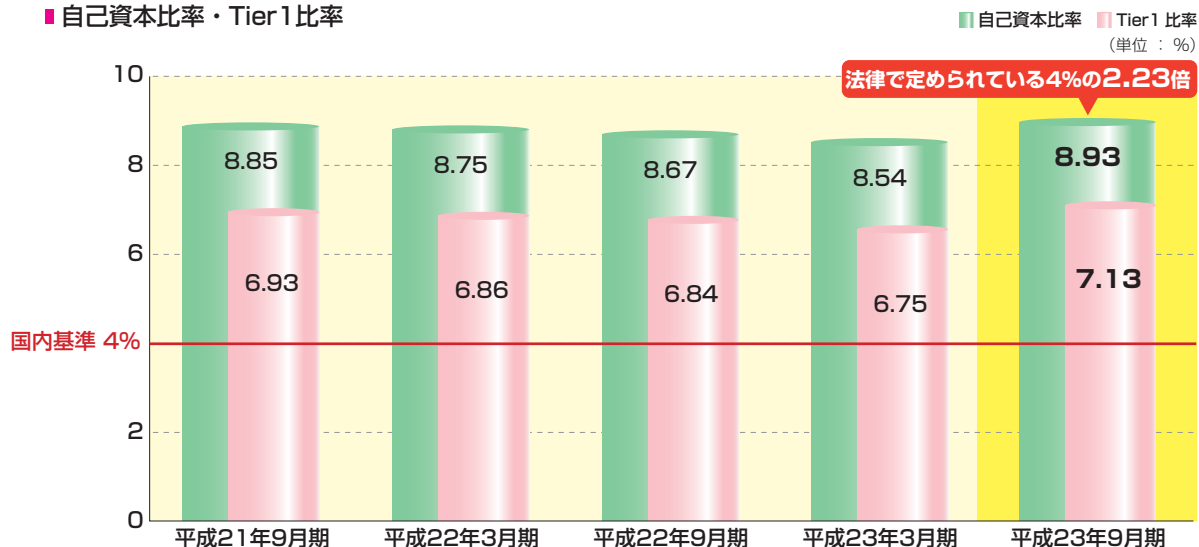
自己資本比率は国内のみで営業している銀行は国内基準の4%以上、海外に拠点を持つ銀行は国際統一基準の8%以上を保つ必要があり、当行は国内基準4%以上の自己資本比率の確保が求められております。

当行の**自己資本比率は8.93%**と**国内基準の2倍以上**あり、劣後ローン等の負債性調達手段に頼ることなく**高い安全性**を維持しております。

また、**Tier 1 比率も高く、高い健全性を維持しております。**

今後も収益力を高め内部留保を積み上げることにより、自己資本の充実を図ってまいります。

■ 自己資本比率・Tier1比率



用語のご説明

■ 自己資本比率

信用リスク・アセット(総資産のうち、貸し倒れの可能性がある資産)等に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標です。

■ Tier1比率

自己資本のうち、資本金および剰余金などを基本的項目(Tier1)といい、これを分子として計算した自己資本比率がTier1比率です。

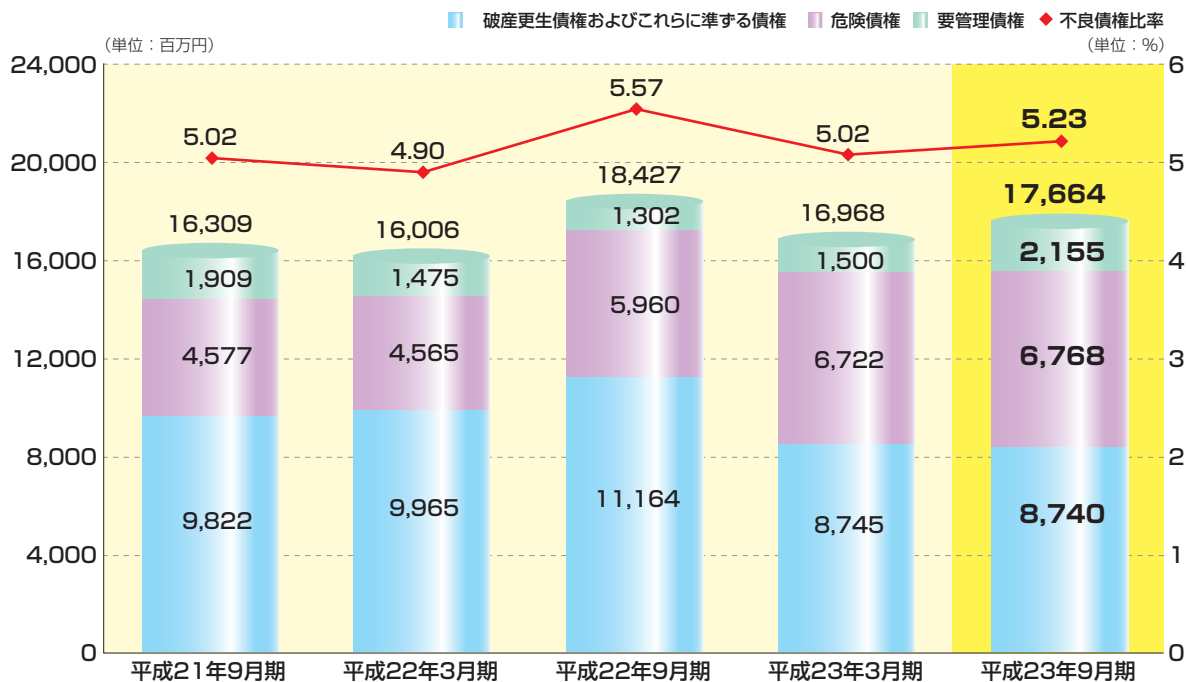
Q 不良債権の状況は？

A 厳格な資産査定と適切な保全・引当で、資産の健全性維持に努めております。

■ 不良債権

平成23年9月期の金融再生法開示基準による当行の**不良債権額は176億64百万円**、**不良債権比率は5.23%**となりました。

■ 金融再生法開示基準による不良債権額および不良債権比率の推移



【金融再生法開示債権の定義】

用語のご説明

破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権。

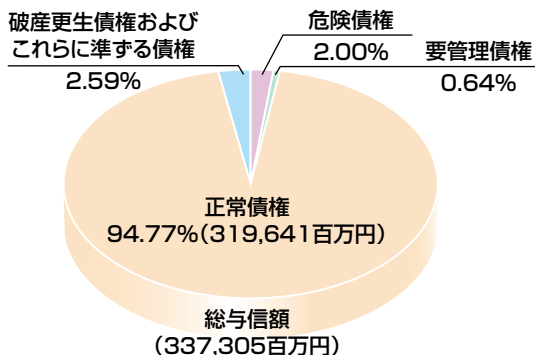
要管理債権

3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権。

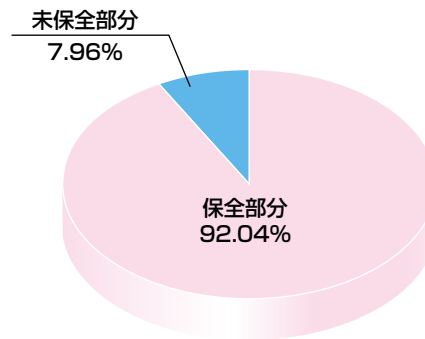
当行は、堅実経営をモットーに信用リスクの管理強化に努め、また「金融検査マニュアル」で示された、資産査定、引当基準の考え方を踏まえ、自己責任に基づき、かつ外部監査人との合意のもと、十分な貸倒引当金の繰入を実施しております。不良債権に対しての担保や貸倒引当金による**保全率は92.04%**で、残りの部分に対しても自己資本での対応が十分可能です。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査、リスク管理を徹底しながら、資産の健全性維持に努めてまいります。

■金融再生法開示債権の状況（平成23年9月期）



■金融再生法開示債権の保全状況（平成23年9月期）



■金融再生法開示債権の保全内訳（平成23年9月期）

(単位：百万円)

平成23年9月30日	破産更生債権およびこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	8,740	6,768	2,155	17,664
対象債権に対する貸倒引当金 (B)	1,014	625	390	2,030
担保・保証等による保全額 (C)	7,726	5,874	627	14,228
保全額 (D=B+C)	8,740	6,500	1,017	16,259
開示額に対する保全率(D÷A)	100.00%	96.04%	47.22%	92.04%

Q 中間財務諸表は？

A おかげさまで当行は昭和26年創立以来60年間黒字決算を続けております。

● 中間貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
現金預け債権	26,825
入金金銭証券	0
有価証券	102,884
貸外に出為替	336,820
その他の資産	113
有形固定資産	1,518
無形固定資産	13,897
繰延税金資産	143
支払引当金	2,128
貸倒引当金	256
資産の部合計	△ 3,576
負債の部	481,013
預渡性預金	436,206
借入の他負債	7,101
未払法人税等	12,600
資産の除去負債	2,152
その他の負債	68
役員退職慰労引当金	33
睡眠預金払戻引当金	2,050
再評価に係る繰延税金負債	171
支債の部合計	109
負債及び純資産の部合計	2,645
純資産の部	256
資本剰余金	461,244
資本準備金	2,500
利益剰余金	1,203
利益準備金	1,203
その他の利益剰余金	13,414
固定資産圧縮積立金	1,396
別途積立金	12,018
繰越利益剰余金	476
自己株	10,325
株主資本合計	1,217
その他の有価証券評価差額金	△ 118
土地再評価差額	16,999
評価・換算差額等合計	△ 1,093
純資産の部合計	3,862
負債及び純資産の部合計	2,769
	19,769
	481,013

● 中間損益計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	6,202
資 金 運 用 収 益	4,714
(うち貸出金利息)	3,913
(うち有価証券利息配当金)	779
役 務 取 引 等 収 益	444
そ の 他 業 務 収 益	701
そ の 他 経 常 収 益	342
経 常 費 用	4,565
資 金 調 達 費 用	370
(うち預金利息)	358
役 務 取 引 等 費 用	364
営 業 経 費	3,456
そ の 他 経 常 費 用	373
経 常 利 益	1,637
特 別 損 失	15
固 定 資 産 処 分 損	4
減 損 損 失	11
税 引 前 中 間 純 利 益	1,621
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	75
法 人 税 等 調 整 額	542
法 人 税 等 合 計	617
中 間 純 利 益	1,004

○ 中間株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位：百万円)

	金額
株主資本	
当期中首残高	2,500
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	2,500
資本金	
当期中首残高	1,203
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	1,203
利益剰余金	
当期中首残高	1,396
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	1,396
その他利益剰余金	
当期中首残高	477
当中間期変動額合計	△1
当中間期末残高	476
別途中途積立金	
当期中首残高	9,975
当中間期変動額合計	350
当中間期末残高	10,325
繰越利益剰余金	
当期中首残高	628
当中間期変動額合計	△67
当中間期末残高	1,004
固定資産圧縮積立金の取崩	1
別途中途積立金の積立	△350
当中間期変動額合計	588
当中間期末残高	1,217
利益剰余金合計	
当期中首残高	12,478
当中間期変動額合計	△67
当中間期末残高	1,004
固定資産圧縮積立金の取崩	—
別途中途積立金の積立	—
当中間期変動額合計	936
当中間期末残高	13,414

	金額
自己株式	
当期中首残高	△117
当中間期変動額合計	△0
当中間期末残高	△118
株主資本合計	
当期中首残高	16,064
当中間期変動額合計	△67
当中間期末残高	1,004
剰余金の配当	
当中間期純利益	1,004
自己株式の取得	△0
当中間期変動額合計	935
当中間期末残高	16,999
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期中首残高	△893
当中間期変動額合計	△199
当中間期末残高	△1,093
土地再評価差額金	
当期中首残高	3,862
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	3,862
評価・換算差額等合計	
当期中首残高	2,968
当中間期変動額合計	△199
当中間期末残高	△199
純資産合計	
当期中首残高	19,033
当中間期変動額合計	△67
当中間期末残高	1,004
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△199
当中間期変動額合計	735
当中間期末残高	19,769

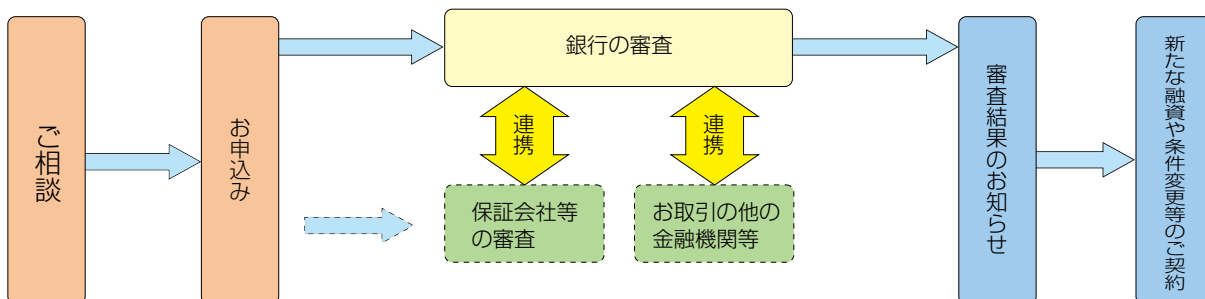
Q 金融円滑化の取組み状況は？

A 地域の中小企業や個人事業主の皆さまおよび住宅ローンをご利用のお客さまを最大限サポートする方針や体制を整備し、金融円滑化への取組みを強化しております。

当行は、お客さまからの新たな融資のご相談や貸付条件変更等のご要望・ご相談に、迅速かつ適切に対応するための体制を敷いております。

体制整備の概要

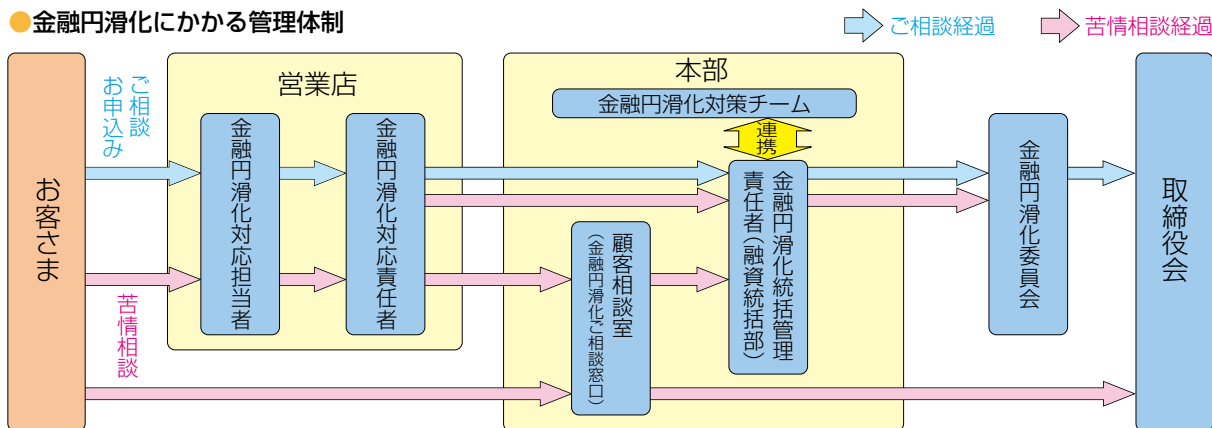
●新たな融資や条件変更等のお取扱い手順



※ご相談やお申込みは営業店の金融円滑化ご相談窓口および本店営業部の住宅ローン窓口でお受けします。

※ご相談やお申込みに関する苦情・ご相談は営業店の金融円滑化ご相談窓口または本部内の顧客相談室にお申し付けください。

●金融円滑化にかかる管理体制



●お問合せ先 お取引店もしくは
顧客相談室「金融円滑化苦情相談窓口」フリーダイヤル 0120-198-500

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

貸付けの条件の変更等の実施状況

(平成21年12月4日施行「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」第4条および第5条に基づく措置の実施状況)

(金額単位：百万円)

(中小企業者のお客さま)	平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年6月末		平成22年9月末		平成22年12月末		平成23年3月末		平成23年6月末		平成23年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	175	2,785	652	9,095	961	12,490	1,233	15,575	1,506	19,662	1,809	24,056	2,105	27,959	2,334	31,258
うち、実行に係る貸付債権	33	578	350	5,774	664	9,474	924	12,605	1,141	15,947	1,414	20,268	1,662	23,690	1,879	27,217
うち、謝絶に係る貸付債権	0	0	23	289	111	1,097	141	1,274	166	1,375	194	1,528	211	1,709	247	1,925
うち、審査中の貸付債権	139	2,152	255	2,804	138	1,457	87	835	108	1,441	98	1,175	108	1,142	72	494
うち、取下げに係る貸付債権	3	54	24	225	48	461	81	860	91	896	103	1,084	124	1,417	136	1,621
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち実行に係る貸付債権	17	243	242	2,423	447	4,407	611	5,776	753	7,247	933	9,237	1,100	10,761	1,255	12,215
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権のうち謝絶に係る貸付債権	0	0	14	164	73	582	92	669	110	755	133	889	149	1,003	176	1,174

(金額単位：百万円)

(住宅資金お借入のお客さま)	平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年6月末		平成22年9月末		平成22年12月末		平成23年3月末		平成23年6月末		平成23年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	11	134	33	424	47	590	63	802	72	946	77	1,004	85	1,098	95	1,181
うち、実行に係る貸付債権	3	20	13	179	24	297	36	443	45	582	48	610	52	646	60	726
うち、謝絶に係る貸付債権	0	0	2	9	7	62	10	129	11	151	13	191	15	232	18	253
うち、審査中の貸付債権	8	114	15	190	8	105	8	96	3	42	3	33	5	51	4	33
うち、取下げに係る貸付債権	0	0	3	45	8	124	9	132	13	168	13	168	13	168	13	168

※件数・金額は返済条件変更等のお申込み時点での債権件数および金額を記載しております。

※件数・金額は、法施行日からの累計を記載しております。

※「中小企業者」には事業を行う個人のお客さまを含みます。

Q 地域貢献にはどのように取組んでいるの？

(本業を通じた地域貢献)

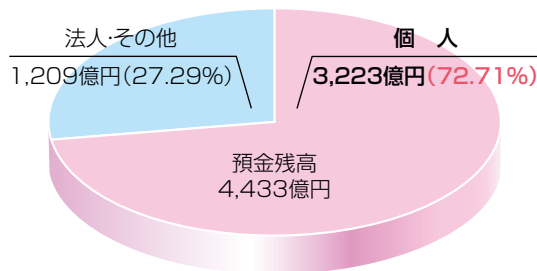
A 預金は個人のお客さま、
貸出金は地元中小企業等向けが中心です。

(平成23年9月30日現在)

1 個人預金残高の比率

個人預金残高は3,223億円であり、預金残高全体に占める比率は**72.71%**となっております。

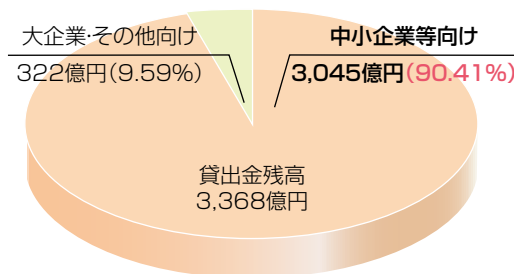
■ 個人預金残高の比率 (譲渡性預金を含む)



2 中小企業等向け貸出金残高の比率

中小企業等向け貸出金残高は3,045億円であり、貸出金残高全体に占める比率は**90.41%**となっております。

■ 中小企業等向け貸出金残高の比率
(個人向け貸出金含む)



A さまざまなご融資を取扱っております。

1 担保・保証に過度に依存しない融資の取扱い

事業者の皆さまの事業発展のために、中小企業等向けビジネスローンや資産を活用した動産担保ローンの取扱いにより、地域の皆さまの幅広い資金ニーズにお応えしております。

- 『福中銀事業応援ローン』
- 『福中銀スモールビジネスローン』
- 『福中銀トラック担保ローン』
- 『福中銀動産担保ローン』

・お問合せ先 お近くの窓口もしくは

福中銀ふれあいプラザ

フリーダイヤル 0120-077-725

TEL 092-751-4667

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

2 「次世代育成支援型住宅ローン」の取扱い

新婚家庭および子どもを育てる家庭向けに金利負担を軽減した住宅ローン「次世代育成支援型住宅ローン」の取扱いをしております。

また、「エコ住宅ローン」(本誌16ページに記載)との組合せにより、さらに金利引下げします。

- 「次世代育成支援型住宅ローン」
 - 『ようこそ新婚さん』
 - 『すこやかファミリー』



・お問合せ先 お近くの窓口もしくは

福中銀ふれあいプラザ

フリーダイヤル 0120-675-430

TEL 092-751-4667

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

A 地域との密着化も図っております。

1 本店アトリウムで保険・住宅ローン相談会実施

●『福中銀・FP 保険プラザ』

平成23年8月1日(月)に当行と保険代理店(FP アソシエイツ&ファイナンシャルサービス株式会社)による保険商品の共同募集を行う「福中銀・FP 保険プラザ」をオープンしました。

金融全般に関する知識がある銀行員と、お客さまのマネープランやライフプランを元に最適な保険・金融商品の提案ができるFP(ファイナンシャルプランナー)がお互いの強みを活かしながら、保険募集から契約そして保全・請求業務に至るまでお互いの役割を明確にした上で、窓口で直接アドバイスや商品販売を行います。

福中銀・FP保険プラザ(予約制) 場所:本店アトリウム
営業時間:月曜日から金曜日 午前10時~午後7時 土曜日 午前10時~午後5時
(日曜・祝日等、月曜日から土曜日の午前12時~午後1時は休み)
予約専用電話 **092-751-5171**

(受付:月曜日から金曜日 午前10時~午後7時 土曜日 午前10時~午後5時)
当日のご予約も受付しております。(銀行休業日を除きます)

●『住宅ローン休日相談』

毎月第1・第3土曜日に、住宅の新築・購入・借換などを検討されている方を対象にした予約制の「住宅ローン休日相談」を行っております。

現在、当行とお取引がない方や返済条件の変更を希望される方もお気軽にご連絡ください。

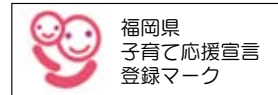
住宅ローン休日相談(予約制) 場所:本店アトリウム
営業時間:毎月第1・第3土曜日 午前10時~午後5時
予約専用フリーダイヤル **0120-196-290**

(受付:月曜日から金曜日 午前9時~午後5時
第1・第3土曜日 午前10時~午後5時)
当日のご予約も受付しております。(銀行休業日を除きます)



2 福岡県「子育て応援宣言」に登録

福岡県では、子育てをしながら引き続き能力を活かして働くことが出来る社会の実現を目指し、「子育て応援宣言」登録企業を広く求めています。当行もその趣旨に賛同し、以下の宣言を行いました。



子育て応援宣言書

我が社は、従業員が出産・育児期を通して十分な子育てをしながら、引き続きその職務能力が発揮できるよう、次の取組みを行うことを宣言します。

取組内容

- 毎週水曜日の早帰り日を推進し、子どもとのふれあいを大切にします。
- 配偶者の出産時休暇制度を奨励します。
- 子ども看護休暇制度の周知を図ります。

3 次世代育成支援対策推進法にもとづく「一般事業主行動計画」を策定

従業員が仕事と子育てを両立させることができ、全員が働きやすい環境を作ることによって、全ての従業員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定しました。

計画期間 平成22年4月1日~平成27年3月31日
内 容

- 目標1 計画期間中に、女性の育児休業取得率を70%以上、男性の育児休業を1名以上取得させます。
- 目標2 育児休業から復帰する従業員がスムーズに職場復帰できるよう「職場復帰研修」を実施します。
- 目標3 子供の出生児における父親の休暇取得の促進。計画期間中に平均取得率を該当者の40%以上とします。

A 地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝いと、中小企業の経営支援を行っております。

1 お客さまからのご相談等の受付

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時)
ただし、銀行休業日を除きます。

お客さまからのご相談等にお応えするため、下記の相談センターを設置しております。
銀行業務に関してお困りのことやご要望がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

福中銀ふれあいプラザ

- お問合せ先 TEL 092-751-4667
- 融資相談センター
- お客さまサービスセンター
- 保険・投信窓販センター

中・小企業経営支援

- お問合せ先 融資統括部
TEL 092-751-4449

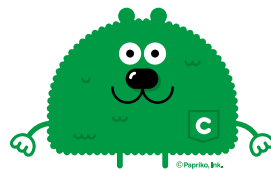
2 「ふくちゅうぎん経営塾21WEB倶楽部」で事業発展のお手伝い

当倶楽部は、経営者・事業後継者および企業経営のノウハウを修得したいと考えている方々に、インターネットを活用して、日常の経営実務に役立ち、ビジネスチャンスに直結する様々な情報をタイムリーにご提供し、事業発展のお手伝いをしております。

- お問合せ先 **福中銀ふれあいプラザ**



3 「もっと、お客さまとの結びつきを深めたい」そんな私たちの想いをカードにしました。



クレジット一体型IC
キャッシュカード〈ムスボ〉

MUSBO

- おサイフ、スッカリ！
- 初年度年会費無料！
(ゴールドカードは対象外となります)
- ショッピングポイントも貯まる！
- MUSBOポイントで各種ローン金利等がおトクに！
「MUSBOカード」を通じて社会貢献を行うために、カードからの収益の一部を福岡県内の環境保全活動を行う団体に寄付しております。



- お問合せ先 お近くの窓口もしくは
福中銀ふれあいプラザ
フリーダイヤル 0120-372-874
TEL 092-751-4667
(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

4 セブン銀行とのATM利用提携開始

平成23年6月1日より、当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国のセブンイレブン等に設置のセブン銀行ATMで、「お引出し」、「お預入れ」、「残高照会」のサービスをご利用いただくことができるようになりました。

また福岡中央銀行ポイントサービス「MUSBOクラブ」1stステージ以上のお客さまは、セブン銀行ATMを手数料無料でご利用いただけます。
※「法人カード」、「通帳」、「硬貨」によるお取引や、「お振込」についてはお取扱いきません。

Q 環境保全や支援等には対応しているの？

A つねに環境問題に取り組むとともに、被災者の方々への復興支援も行っております。

1 環境配慮型住宅に対する住宅ローンの金利負担を軽減

環境配慮型住宅の新築・購入・増改築および借換をされるお客さまを対象に、当行取扱いの住宅ローンより金利を引き下げる「エコ住宅ローン」の取扱いをしております。

また「次世代育成支援型住宅ローン」（本誌13ページに掲載）との組合せにより、さらに金利引下げします。

- 「エコ住宅ローン」
- 「オール電化住宅ローン」
- 「ホットメリット住宅ローン」



- お問合せ先 お近くの窓口もしくは
福中銀ふれあいプラザ
フリーダイヤル 0120-675-430
TEL 092-751-4667
(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

2 「MUSBOカード」の収益の一部を寄付

「MUSBOカード」のコンセプトは絆を「結び！」です。そのためお客さまとの結びつきにとどまらず、MUSBOカードを通じて社会貢献に参画し、社会との結びつきを深めたいと思い、カードからの収益の一部を福岡県内の環境保全活動を行う団体に寄付しております。



MUSBOカード
西日本エコ基金贈呈式

3 東日本大震災の被災者の方々へ 当行より義援金の寄託を行うとともに お客さまからお預りした義援金を寄託

東日本大震災により被災された皆さまとご家族に、心からお見舞いを申し上げます。

被災者の方々への復興支援のために、平成23年3月に福岡中央銀行ならびに当行役員で日本赤十字社に、平成23年9月に創立60周年感謝キャンペーンの一環として「がんばろう日本」福岡・九州推進協議会に義援金を寄託しました。

また、お客さまとともに被災者の方々を支援するために、平成23年3月より窓口に「東日本大震災義援金募金箱」を設置し、義援金の受付を行っております。7月末までにお預りした義援金1,815,146円は、8月末に西日本新聞社と西日本新聞民生事業団を通じて日本赤十字社へ寄託させていただきました。

多くの皆さまからご厚意をいただき誠にありがとうございました。

4 「チャレンジ25キャンペーン」に参加

当行は、地球温暖化の原因となっているCO₂等温室効果ガスの削減問題への取組みとして、政府の推進する「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、より具体的な取組内容を「チャレンジ25宣言」として表明いたしました。

「チャレンジ25宣言」

私たち株式会社福岡中央銀行は、「チャレンジ25キャンペーン」に参加します。

会社の事業活動、社員の行動を通じて地球温暖化防止に努めることを宣言します。

Q 金融犯罪防止への取組みは？

A 安心してお取引いただくために、お客さまに注意喚起を行うとともに、さまざまな対策に取り組んでおります。

1 振り込め詐欺への対応

● 振り込め詐欺撲滅への取組み

窓口で振込依頼を受付した際などに、お客さまへ振り込め詐欺被害防止のための声掛け、心配りを行うことで、被害未然防止に努めております。

● 振り込め詐欺の被害にあわないために

振り込め詐欺の被害にあわないために、以下のことにご注意ください。

電話、郵便等により高額のお金を預金口座等に「振り込め」というものについては、「**すぐに振り込まない。一人で振り込まない。**」でください。

● オレオレ詐欺（恐喝）

電話を切った後、必ず本人やその家族、勤務先等と連絡を取り、事実を確認しましょう。

● 還付金詐欺

社会保険事務所や自治体などが、ATMで手続きさせることはありませんし、お金が振り込まれることもありません。

架空請求詐欺（恐喝）や融資保証金詐欺等にも充分ご注意ください。

万一、振り込め詐欺の被害にあわれたとき

直ちに警察と振込先の金融機関へご連絡し、振り込んだ預金口座の利用停止を求めてください。

被害にあわれ、当行の口座に振り込みをされた方は下記までお申し出ください。

振り込め詐欺救済法による被害金返還請求などに関するお問合せ先

顧客相談室 TEL 092-751-4470

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
ただし、銀行休業日を除きます）

2 CD・ATMを利用した犯罪被害防止策の実施

地域の皆さまにキャッシュカードを安全にご利用いただけるよう、セキュリティの強化に努めております。

- ATMでの1日1口座あたりのご利用限度額を現金のお支払は50万円、お振込は200万円としております。
- お客さまご自身がATMで1日1口座あたりのご利用限度額や暗証番号の変更ができます。また、営業店窓口での変更もできます。
- 暗証番号変更時、生年月日等類推されやすい暗証番号の登録を制限しております。

カード・通帳・印鑑等をなくされた時のご連絡先

- 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時

お取引店または当行本支店

（電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください）

- 銀行休業日および上記以外の時間帯

福岡中央銀行CD監視センター

TEL 092-751-5036

3 暴力団排除条項の導入に伴う預金規定等の改定

反社会的勢力との関係遮断のための取組みを積極的に推進しております。

政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」等の内容を踏まえ、預金等の規定を改定し、暴力団排除条項を導入しております。

これにより、各預金取引のお申込みを受けた際等に、お客さまが反社会的勢力に該当しないことを表明、確約していただき、お取引開始後に表明、確約が虚偽の申告であった場合や反社会的勢力に該当することが判明した場合には、取引を停止、または解約させていただきます。

役員・株式のご案内

● 役員のご案内 ●

(平成23年10月1日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	末松修
専務取締役 (代表取締役)	古賀正三
常務取締役	重富隆信
常務取締役	栞原学
取締役	力丸光典
取締役	中島健二
取締役	國松利行
取締役	藤原俊文
取締役	井桁善廣
取締役	西村典純
常任監査役 (常勤)	中村満雄
監査役 (非常勤)	永利新一
監査役 (非常勤)	鎮西正直
監査役 (非常勤)	酒見俊夫

(注) 監査役永利新一、鎮西正直および酒見俊夫は、社外監査役です。

● 株式のご案内 ●

1. 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

2. 定時株主総会 毎年6月

3. 基準日

定時株主総会 毎年3月31日

期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

4. 株主名簿管理人・連絡先

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

5. 公告の方法 電子公告により当行ホームページに掲載します。

(<http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>)

ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および福岡市において発行する西日本新聞に掲載します。

【お知らせ】

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等につきましては、証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へ、証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお申出ください。
- ・特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

店舗・ATMのご案内

(平成23年12月1日現在)

店舗一覧

【金融機関コード 0582】 ● 休日稼働時間は土曜日、日曜日、祝日の9:00～17:00です。

店舗コード	店舗名	郵便番号	住所	電話番号	ATM稼働状況		外貨両替 取扱店	住宅金融支援機構 取扱店
					平日	休日稼働		
001	本店営業部	〒810-0041	福岡市中央区大名二丁目12-1	092-751-4433	8:00~21:00	●	●	●
002	清川支店	〒810-0005	福岡市中央区清川一丁目12-3	092-521-0531	9:00~18:00			
031	平尾支店	〒810-0014	福岡市中央区平尾二丁目19-22	092-531-4635	9:00~18:00	●		●
005	馬出支店	〒812-0054	福岡市東区馬出二丁目22-21	092-651-6961	8:00~20:00	●		●
027	香椎支店	〒813-0013	福岡市東区香椎駅前二丁目9-6	092-681-2136	9:00~19:00	●		●
004	博多支店	〒812-0026	福岡市博多区上川端町3-4	092-281-5107	9:00~21:00	●		●
026	博多駅東支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目1-25	092-411-7461	8:00~21:00	●		●
042	筑紫通支店	〒812-0893	福岡市博多区那珂一丁目22-3	092-451-2851	9:00~18:00	●		●
006	雑餉隈支店	〒812-0878	福岡市博多区竹丘町二丁目1-5	092-581-3731	8:00~20:00	●		●
003	西新支店	〒814-0002	福岡市早良区西新五丁目1-38	092-821-3061	8:00~21:00	●		●
039	室見駅前出張所	〒814-0015	福岡市早良区室見四丁目24-21	092-851-4344	9:00~18:00			
032	原新支店	〒814-0022	福岡市早良区原六丁目21-31	092-851-6261	9:00~18:00	●		●
036	新室見支店	〒819-0025	福岡市西区石丸一丁目14-12	092-882-0711	9:00~20:00	●		●
030	長尾支店	〒814-0123	福岡市城南区長尾一丁目17-10	092-861-0211	8:00~20:00	●		●
033	七隈支店	〒814-0133	福岡市城南区七隈三丁目1-24	092-862-3871	9:00~18:00	●		●
016	野間支店	〒815-0041	福岡市南区野間一丁目11-31	092-541-4534	8:00~20:00	●		●
028	大橋支店	〒815-0033	福岡市南区大橋三丁目27-18	092-541-6365	9:00~18:00	●		●
037	鶴原支店	〒811-1355	福岡市南区鶴原一丁目33-31	092-512-8911	8:00~20:00	●		●
038	鶴田支店	〒811-1352	福岡市南区鶴田二丁目22-5	092-565-7398	9:00~20:00	●		●
045	前原支店	〒819-1116	糸島市前原中央一丁目5-1	092-324-4371	9:00~18:00	●		●
029	二日市支店	〒818-0072	筑紫野市二日市中央五丁目8-3	092-922-6731	9:00~18:00	●		●
035	須玖支店	〒816-0863	春日市須玖南三丁目32-3	092-572-1321	8:00~20:00	●		●
040	大利支店	〒816-0952	大野城市下大利一丁目1-13	092-581-6051	9:00~18:00	●		●
041	ひまわり台出張所	〒818-0134	太宰府市大佐野六丁目2-8	092-925-9771	9:00~18:00	●		●
034	自由ヶ丘支店	〒811-4163	宗像市大字自由ヶ丘五丁目975-11	0940-33-3321	9:00~18:00	●		●
046	志免支店	〒811-2207	糟屋郡志免町南里四丁目11-7	092-937-1211	8:00~20:00	●		●
007	小倉支店	〒803-0812	北九州市小倉北区室町二丁目6-1	093-561-4985	9:00~18:00	●		●
008	門司支店	〒801-0851	北九州市門司区東本町一丁目2-10	093-321-3861	8:00~20:00	●	●	●
009	戸畑支店	〒804-0082	北九州市戸畑区新池二丁目10-11	093-871-4524	9:00~18:00	●		●
025	黒崎支店	〒806-0026	北九州市八幡西区西神原町2-30	093-631-4538	8:45~18:00	●		●
011	若松支店	〒808-0034	北九州市若松区本町二丁目2-21	093-761-4723	8:00~20:00	●		●
017	行橋支店	〒824-0003	行橋市大橋三丁目6-7	0930-23-2381	9:00~18:00	●		●
013	飯塚支店	〒820-0068	飯塚市片島一丁目1-14	0948-22-2380	9:00~18:00	●		●
014	直方支店	〒822-0017	直方市殿町4-1	0949-22-2110	8:00~20:00	●		●
015	田川支店	〒825-0012	田川市日の出町3-5	0947-42-3111	9:00~18:00	●		●
020	久留米支店	〒830-0017	久留米市日吉町5-45	0942-33-7391	8:00~20:00	●		●
043	久留米合川支店	〒839-0809	久留米市東合川二丁目3-7	0942-43-1091	9:00~18:00	●		●
021	大牟田支店	〒836-0842	大牟田市有明町二丁目2-14	0944-52-4246	8:00~20:00	●		●
022	大川支店	〒831-0016	大川市大字酒見130-1	0944-87-3200	9:00~18:00	●		●
023	八女支店	〒834-0063	八女市本村425-237	0943-23-2181	9:00~18:00	●		●
024	甘木支店	〒838-0068	朝倉市甘木1840-1	0946-22-3900	8:00~20:00	●		●

店舗外自動サービスコーナー

● 休日稼働コーナー(9:00~17:00)

<福岡市中央区>	●	西鉄福岡駅2階コンコース北側(ATM)	<糸島市>	糸島市役所(CD)
		福岡市鮮魚市場会館1階(CD)	<糟屋郡志免町>	志免町役場(CD)
<福岡市博多区>	●	地下鉄博多駅筑紫口地下1階コンコース(ATM)	<行橋市>	行橋市役所(CD)
		福岡合同庁舎1階(CD)	<直方市>	直方市役所(CD)
		千鳥橋病院(ATM)	<田川市>	田川市役所(CD)
<福岡市城南区>	●	南片江テングッド片江ビル1階(ATM)		田川市立病院(CD)
<筑紫野市>		筑紫野市役所(CD)	<朝倉市>	朝倉市役所(CD)
<春日市>		春日市役所(CD)		

福岡中央銀行の携帯サイトはこちらからアクセス→

パソコンからアクセス



この街でいっしょに

福岡中央銀行

平成23年12月発行

福岡中央銀行 総合企画部

〒810-0041 福岡市中央区大名二丁目12番1号

電話番号 092-751-4431(代)

ホームページ <http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>